

【セッション2】
災害を経験した地区の取組みとその効果

<仮説の提示>

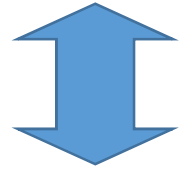
加藤孝明

東京大学生産技術研究所・教授／社会科学研究所・特任教授
【まちづくり, 都市計画, 都市防災, 地域安全システム学】

災害時に地区防災計画が発揮する効果

(明文化された)

- 「地区防災計画が見事に機能した」



- 「地区防災計画は役に立たなかった」

災害現象の未知性・不確実性

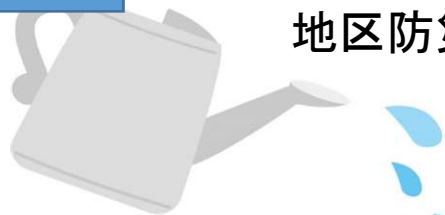
-
- 「地区防災計画を策定した経験(プロセス)が役立った」

- 地域の実情を理解, 共有していたことが役立った
- 地域の災害時の課題を理解, 共有していたことが役立った
- 地域の多様な人々との人的ネットワークが役立った
-

災害時に地区防災計画が発揮する効果 災害後に計画づくりが果たす役割

平時

地区防災計画の検討



①地区防災計画策定

②地域コミュニティの災害対応力が
災害時に発揮される「素地」が醸成

災害後

災害の経験



①地区防災計画の改訂

②地域コミュニティの災害対応力が
災害時に発揮される素地が向上

